

中信高校山岳部かわらばん

編集責任者 大西 浩

池田工業高等学校

池工山岳部 OB 交流有明山登山 その3

さすが、元顧問の「鶴の一声」。集まったOBは14名。一方の現役は、全員集合はかなわず8名の参加。午後2時半に登山口となる馬羅尾高原の「林遊館」（松川村林業研修施設）に到着し、生徒たちにはもてなし役となるべく大鍋料理（山形の芋煮をイメージ）の準備を始めさせる。用意した里芋は2.5kg、肉も3kg。

3時半ころから三々五々OBが集まって来た。5時30分。登山道復活事業の際の道案内をつとめた大先輩の遠藤常夫さんの「こんな機会を設けて戴いて本当に嬉しい・・・」という乾杯のご発声で、交流会を開始。宴がたけなわとなったところで、矢口先生に当



時の苦労話も交えながら、池工山岳部顧問時代の話をしていただくと、OBからも現役からも大きな拍手がわき起こった。次いで、現役の部長山崎稜君が、今日の交流会多くの差し入れをしていただいたことなど先輩への感謝の気持ちを伝え、その後現役の諸君の自己紹介。さらにはOB一人一人からの激励も交えた話をしてもらった。大いに飲み、食い、騒

ぎ・・・いつの間にか夜は更け、日付が変わる頃まで宴会は続いた。

翌日は一点の雲もない快晴。予定より10分遅れの5時40分に林遊館を出発。OBも4名が同行。生徒8名、顧問2名と合わせ14名での登山となった。6時に登山口着。「こんな道だったかや?」「川の左岸を行くんじゃなかったっけ」等それぞれに思い出を語り



ながら進んでいく。いずれも上機嫌である。6:50大曲着。2年生は昨冬の耐寒ビバークの翌日、ここまでは来た。あの時の雪景色とは違い、このあたりでも今日は紅葉がぼつぼつ楽しめる。7:35不動の滝。エメラルドグリーンの滝壺は健在である。滝をバックに1本立てた。登山道整備当時はこの先の尾根の取り付きの手前にBCをおいて、笹刈りをしたとのことで、OB諸氏はその場所を同定したいようだったが、20年の歳月の流れで沢の流れも変わり、もう一つ正確には同定できず残念そうであった。それでも「このあたりじゃないか」、「いやここだ」などと楽しそうであった。

8:10尾根の取り付き。道標にはネジ止めされた

「池工山岳部」の文字が読み取ろうとすれば読み取れた（次ページ写真）。平成2年、第6回の作業の折の「道標には営林署名しか記入許可がおりないので、50×150mmの亚克力板に、学校にある数値制御工作機械(MC)で『池工山岳部』と彫り込み、道標板の下にネジ止め出来るよう準備する。」という矢口先生の文に記述のある亚克力板に間



違いない。10年以上前に一人で登ったときは、このアクリル板がまだ相当数健在だったが、今回はこの他には落合にもう一つあっただけであった。歳月の流れはこんなところでも感じられた。

さて、ここからの急登は半端ではない。しかもそれが延々と続くので、この大集団では休む場所とてない。結局、滝から1時間40分もノンストップで尾根の中腹まで登ってなんとか1本取れる場所を見つけた。有明山はやはり厳しい山だ。9:30落合(1860m)に到着。先に書いたようにここにもアクリル板は健在だったが、その他に「松川方面」「有明方面」と彫られた木製の道標があり、右上に「池工」の彫り込みがあった(左写真)。

頂上直下の最後の急斜面の手前2100m地点でさらにもう1本取り、気合いを入れて最後の一踏ん張りに備えた。頂上(北岳)に着いたのは、11:05。頂上にはかつての木製の鳥居にかわり、なんとなくその場にはそぐわない銀色に輝く鳥居が立っていた。そこから三角点まで進み、燕岳と大天をバックに全員で記念写真。遠くは富士山も望める360度の眺望に大満足。暫く時間をとり、北岳に戻るもの、中岳まで行くものに別れ、それぞれの思いを胸に有明山頂での一時を過ごした。OB諸氏は登る前から話題になっていた「当時持ち上げて隠しておいたはずの御神酒がどこかにあるはずだ」とあちこちそれらしいところを探していたが、結局見つけられなかったのもご愛敬。

11:50山頂を出発。13:00落合で1本。笹の生えた濡れた急坂の下りに悪戦苦闘する生徒諸君をなんとか取り付きまで下ろして一安心。滝まで行って休もうと、「以前一人で登った時に、誰もいないからと滝壺にまっばだかで飛び込んだら、最高の開放感。本当に気持ちよかったぜ！」などと妙な自慢話をしながら苔むし濡れた河原を鼻歌交じりで歩いていて、不覚にも足を滑らせた小生。頭から川の中にドボン。思いもかけず前身ずぶ濡れになるというおまけまであったが、秋の一日OBも交え本当に楽しい登山であった。下山したのは16:00。10時間行動であったが、生徒たちも大喜びの一日であった。

林遊館に帰ると、山には登らずに下の方でキノコ採りにいそしんだ矢口先生らが、昨日の芋煮のあまりを利用して、キノコ入りうどんを作ってくれてあった。感謝、感謝。みんなでありがたくいただいて、解散。

